

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成 26 年度定時総会議事録



- 1. 開催日時：平成 25 年 6 月 29 日（日）11：10～12：30
- 2. 開催場所：埼玉県県民活動総合センターセミナーホール1（〒362-0812 埼玉県伊奈町内宿台 6-26）



- 3. 理事・監事の数及び出席理事監事の数

- (1) 理事数 15 名、監事 2 名
- (2) 出席理事数 15 名、出席監事数 2 名



- 4. 司会 水田宗達



- 5. 開会の辞 望月久

- 6. 会長挨拶 清宮清美

- 7. 定足数報告（会員数及び出席会員数）

- (1) 会員総数：3,423 名（6 月 9 日現在）
- (2) 出席会員数：2,352 名（参加：156 名、議決権行使書：2,197 名）



- 8. 議決事項

- (1) 第 1 号議案  
平成 25 年度事業・決算報告  
貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件  
平成 25 年度監査報告
- (2) 第 2 号議案  
平成 26 年度事業計画並びに予算案の承認を求める件
- (3) 第 3 号議案  
定款変更を求める件



- 9. 議長団選出の経過

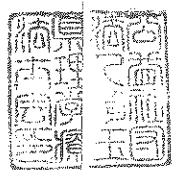
- (1) 定款に定めた定足数の出席があったことを司会者 水田宗達氏が報告した後、議長・副議長の選出につき一同に諮ったところ、フロアより執行部一任の提案がなされ、議長・副議長が選任された。  
議長：松寄洋人 氏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）  
副議長：柳澤千香子 氏（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）
- (2) 議長により書記が選任された。  
書記：杉山真理 氏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）  
米澤隆介 氏（北里大学メディカルセンター）



- 10. 議事の詳細

- (1) 第 1 号議案  
平成 25 年度事業・決算報告  
貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件  
《平成 25 年度事業・決算報告》

① 会長より総括が報告され、各部局についての詳細も会長より報告がなされた。



平成 25 年 4 月より公益社団法人に移行後、公益社団として事業を行った初めての年となった。県民のための公益事業（直接的公益事業；公益 1）と理学療法のスキルアップのための研修活動（間接的公益事業；公益 2）、および積極的な職能活動（共益事業）を行ったと報告された。

- ② 事務局、財務局、事業局、学術局、教育局、広報局、職能局、東部ブロック、西部ブロック、南部ブロック、北部ブロックについて報告された。
- 事務局では、総務部が公益社団法人に関する事務を担当した。財務局では、出納部が公益社団法人に関する会計を担当した。事業局では、小児福祉部で新規事業としてこどもの福祉機器展・講演会が開催された。東部ブロックでは、地域リハビリテーション研修会を担当した。
- ③ 各委員会に関して事業報告が会長よりなされた。
- 財政基盤検討委員会、表彰委員会、組織検討委員会、第 22 回埼玉県理学療法学会準備委員会、第 23 回埼玉県理学療法学会準備委員会、ブロック連絡委員会、公益社団法人検討委員会、埼玉県理学療法学会評議員会、訪問リハビリテーション推進振興委員会、第 49 回日本理学療法士協会全国学術研修大会準備委員会、がんリハビリテーション推進委員会、選挙管理委員会について報告があった。

#### 《平成 25 年度決算》

総会資料に基づき、財務局長より平成 25 年度の決算として収入および支出の報告がされた。なお、収入において会費収入、雑収入について説明された。また、支出において事業費としてヘルシーフロンティア埼玉県県民会議、スポーツリハビリテーションに関する活動費、理学療法週間推進活動費、埼玉県理学療法学会日（第 23 回・第 24 回）について、管理費として会議費、組織検討委員会費、公益社団法人検討委員会費、備品購入費、事務局人件費、特定預金支出について説明された。当期収支差額と次期繰越収支差額について報告された。また、貸借対照表、正味財産増減計算書、および財産目録について説明がなされた。

#### 《平成 25 年度監査報告》

議長が本件に関し、監事に説明報告を求め、田尻和行氏より平成 25 年度監査結果が報告された。

#### 《第 1 号議案についての質疑応答》

- ① 会員より、新人教育プログラムの取得率向上について、昨年度の修了率について質問があった。教育局長より 45 位であったと報告された。

#### 第 1 号議案

- ① 平成 25 年度事業・決算報告  
貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
- ② 平成 25 年度監査報告に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数（3,423 名中、1,712 名）の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者 2,348 名の賛成が得られたため定款第 19 条 1 項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第 1 号議案は可決された。

#### (2) 第 2 号議案

平成 26 年度事業計画並びに予算案の承認を求める件

- ① 総会資料に基づき、解良副会長より各局、部、ブロックの事業計画案の説明がなされた。事務局、財務局、事業局、学術局、教育局、広報局、職能局、東部ブロック、西部ブロック、南部ブロック、北部ブロックについて説明された。事業局では、高齢者福祉部で高齢者地域リハビリテーションマップ調査・作成事業を、健康増進部で健康増進部ニューズレターの発

行を、小児福祉部では小児療育マップアンケート調査の実施・更新を前年度の事業に加えて行うと報告された。広報局では、インターネット管理部で士会ホームページの更新とメールマガジンを開始することが、理学療法週間推進部で理学療法週間の企画を高校生のみならず一般県民も対象とする旨が報告された。職能局では、業務推進部および介護保険部で地域包括ケアシステムに向けた事業展開について報告された。

- ② 総会資料に基づき、原副会長より各委員会の事業計画案の説明がなされた。財政基盤検討委員会、表彰委員会、組織検討委員会、第23回埼玉県理学療法学会準備委員会、第24回埼玉県理学療法学会準備委員会、ブロック連絡委員会、埼玉県理学療法学会評議員会、訪問リハビリテーション推進振興委員会、第49回日本理学療法士協会全国学術研修大会準備委員会、がんリハビリテーション推進委員会、選挙管理委員会について説明がなされた。
- ③ 総会資料に基づき、財務局長より平成26年度予算案について説明がなされた。収入において会費収入、事業収入について説明された。また、支出において事業費として健康増進部ニュースレター発行費、スポーツ関係者のための研修会費、埼玉県がんリハビリテーション研修会費、インターネット管理費、地域リハ・協会依頼研修会費、地域包括ケア研修会費、介護報酬改定に関する研修会費について報告された。管理費として選挙管理委員会費、通信費について報告された。また、特定預金支出と予備費について説明された。予備費については平成25年度の決算報告に基づいており、修正されるため後日定期便で会員に周知されることが報告された。

#### 《第2号議案に関する質疑応答》

- ① 会員より、地域包括ケアシステムは事業局が中心に行うのかと質問があり、会長より主にはブロックと職能局で取り組むことが説明された。委員会などの立ち上げについても提案があり、会長より今後検討すると回答がなされた。
- ② 会員より、新人のうちから啓発して地域ケア会議に出席させるような教育システムを構築してほしいと提案があり、会長より検討する旨回答がなされた。
- ③ 会員より、2020年のオリンピック・パラリンピックへの対応は考えているのかと質問があり、会長より現状では未検討であると回答されたが、事業局長より全国障害者スポーツ大会への参加経験を生かして取り組んでいきたいと回答があった。
- ④ 会員より、会報発行の継続に関しての今後の方針について質問があり、会長より理事会で検討中だが決議するに至っていないとの回答がなされた。
- ⑤ 会員より、定款の第24条4項に定める理事の業務報告について、三役の活動報告はされているが、他の理事の活動報告がわからないと質問があり、会長より部局の報告を参照するよう回答がなされた。個別の報告については今後検討すると回答された。
- ⑥ 会員より、協会が代議員総会になったことにより、一般会員の意見が協会に届きにくくなったと感じられるが、対策はあるのかと質問があり、会長よりできるだけ一般会員の意見を収集し事務局長会議や会長会議で協会へ伝える努力はすると回答された。
- ⑦ 会員より、アクションプランにて新人教育プログラムの履修率が低い理由について質問があり、教育局長より、一昨年に実施したアンケート結果を昨年の会報に載せてあるので参照ことと、このアンケートを踏まえて今年度は研修会の日程を早めに広報していると回答があった。

#### 第2号議案

平成26年度事業計画並びに予算案の承認を求める件  
に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数(3423名中、1,712名)の賛成を得た。議決権行使

書を含めた出席者2,347名の賛成が得られたため定款第19条1項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第2号議案は可決承認された。

(3) 第3号議案

定款変更を求める件

事務局長より定款変更についての趣旨説明がなされた。

《第3号議案に関する質疑応答》

① 会員より、意見として42条4項および42条8項に関して、役員の業務負担の軽減がなされるよう変更してはどうかと提案があった。会長より、本日の決議はできないため、今後、県と相談のうえ、検討していきたいと回答があった。

第3号議案

定款変更を求める件に関して挙手にて承認の是非を諮り、3分の2以上(3,423名中、1,712名)の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者2,349名の賛成が得られたため定款第19条2項に基づき総会員数の3分の2以上の賛成を得たため、第3号議案は可決承認された。

(4) その他

- ① 会長より平成25年度収支差金についての使用方法についての報告がなされた。  
差金は、職能局研修会、地域包括ケア会議、理学療法週間、全国研修会でのレセプションで使用する旨が報告された。
- ② 会員より、協会代議員総会の日程の周知方法および会員動向について質問があり、会長より協会へ確認すると回答があった。
- ③ 会員より、協会の組織率について質問があり、解良副会長より士会としても組織率の向上が課題のひとつであると回答された。また、県内にある施設にどのくらい理学療法士が在籍しているのか、県のほうに情報公開の交渉をしており、情報が入手できない会員にも報告したいと回答があった。





以上をもって、議長は本会議のすべての議案が終了した旨を告げ、書記・議長を解任した後、副会長岡持利亘が閉会を宣言し、本会は解散となった。

本会議の議事内容を明確にするために本会議事録を作成し、本会議の内容を証明するため議長および出席した理事、は以下に署名捺印を行う。

以上

平成26年 6月29日

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成26年度定時総会

議長 松崎 洋太   
代表理事 清宮 清美   
理事 岡持 利亘   
理事 水田 宗達 

- 理事 渡邊 雅恵 (安)
- 理事 河合 麻美 (河)
- 理事 細井 俊希 (細)
- 理事 望月 久 (望)
- 理事 野田 剛 (野)
- 理事 飛田 英樹 (飛)
- 理事 菜原 慶太 (菜)
- 理事 矢野 秀典 (矢)
- 理事 原嶋 創 (原)
- 理事 本宮 光信 (本)
- 理事 解良 武士 (解)
- 理事 原 和希 (原)

通

志

求

飛

信

通

河

語

通

後

通

通

通

通

通

通



通

通